

## ことばたちよ

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン  
「今日のフォーカスチェンジ」第2727号  
(2011年4月18日発行)より

ものごころついたときから、文章を書くのが好きでした。物語は、10歳くらいには、もう書き始めていましたし、詩、短歌などを、学習雑誌の読者欄によく投稿していました。

中学校で演劇をやるようになったと同時に、脚本も書くようになりました。大人になってからは、児童文学の勉強会に参加して、ある新人賞の最終選考まで残ったこともあります。

いまは、こうして、毎日、メルマガ(ブログ)を書いています。7年半も書いていると、完全に習慣になっています。ごはんを食べたり、歯を磨いたりするのと同じ感覚です。(笑)

それでも、ことばと向き合うということ

は、私にとって、いつでも自分の内がわと向き合う作業だなあと思うのです。

自分の内がわから沸き上がってくる思い。あるいは、何かに触発されて、伝えずにはいられない思い。それを、どうしたら、伝わることばに変えられるのだろう。

いま、この瞬間に、何千、何万と、生み出されてくる、洪水のようなことばたちのなかで、私が生み出すことばは、どこに、どのように着地するのだろうか。

ことばたちよ。私は、あなたがたが、この世に生まれるために、一番必要なかたちを用意しているだろうか。あなたが本当に輝くためのかたちを、考えぬくだけの努力を、おこたってはいないだろうか。

ことばたちよ。あなたがたと私の出会い、いつでも一期一会だ。たとえ、

同じような表現をとる結果になったとしても、いつでも生まれてはじめて出会うような新鮮なおどろきと、よろこびをもって、あなたを迎えたい。

今日…。いつもの当たり前のようになっている作業を、あらためて意識してみたとき、そんな気持ちが湧き上がってきたのでした。

一期一会。本当に、そんな気持ちで向き合いつづけたいと思いました。誰が読んでくれるかわからない。読み過ごされてしまうことだってあるだろうし(私自身、そのようなしてしまふときはたくさんあるし)、気づいてもらえないことだって、あるかもしれない。それでも、生み出す責任はあると思ふから。

今日のメッセージは、あなたに届くことばになっているだろうか。あなたの胸に伝わるだけの表現になっているだろうか。そんなふう、いつでも問い返したいと思ふます。

それは、私が私自身を生きるために、必要なことだと思ふのです。

ことばたちよ。あなたに誠実でありつづけたい。あなたをとおして出会うすべてのひとに、誠実であるために。私が私自身を生きるうえで、誠実であるために。

そして。いま、このメッセージを読んでもくださっているあなたに、こころからの感謝をこめて。あらたに出会う未知のあなたにも、深く感謝しながら。

書きつづけますね。一期一会を。

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、**2003年11月1日**創刊。**2011年3月**、**2700号**達成。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>